



クラブ訪問

280

「どんなことも一生懸命に」

下総みどり学園陸上競技部

私たち「下総みどり学園陸上競技部」は、7年生9人、8年生9人、9年生9人の計27人で、火、金曜日の放課後と土曜日にグラウンドで活動しています。

練習は、全員でウォーミングアップをした後、種目別に行っています。ウォーミングアップでは股関節周りの動きを意識していて、関節を柔らかくして可動域を広げることでパフォーマンスの向

上につなげています。種目ごとの練習では、先輩後輩に関わらず仲の良い雰囲気を生かして、フォーム改善のアドバイスをし合うなど、記録向上に向けたコミュニケーションを取っています。

チームの方針は「どんなことも一生懸命に」。

これは練習だけでなく、あいさつや準備、片付けにも一生懸命に取り組むということです。一人一人の部活に対する姿勢やチームの雰囲気は記録向上に大きく影響します。そのため、練習の前後には必ず全員でグラウンドに向かって全力であいさつをしてメリハリをつけています。また、タイム計測や用具の設置など補助的なことも積極的に引き受けるようにして、前向きに練習に取り組んでいます。

目標は県大会への出場。何事にも一生懸命に向き合い、チームで記録を伸ばしていきたいです。



深い前傾姿勢でスタートダッシュ



一定の歩幅を意識して

おむら あやと
岡村 彪杜 部長(9年生)

体育祭で見た先輩の走りに憧れて入部しました。部の伝統を引き継ぎながら、今までにない最高のチームにしたいです。



なかまと一緒に

278

「お出かけは自分で作った作品と」

おしゃべりパッチワーク



先生が縫い目をチェック



手元に集中して



思い出の作品に囲まれて

私たち「おしゃべりパッチワーク」は、毎月第2・4木曜日に大栄公民館で活動しています。

パッチワークは、さまざまな色・形・大きさの布を縫い合わせて作る手芸のことです。私たちのサークルでは、バッグや小物入れ、タペストリーといった作品を、先生に丁寧な指導してもらいながら制作しています。土台となる材料がそろったキットを使うことが多いですが、合わせる布や糸の色、刺しゅうの入れ方などに個性が表れ、メンバーによって完成品は全く違うものになるのがパッチワークの面白いところです。

サークル名の通り、みんなでわいわいとおしゃべりしながら活動しています。作品に取り掛かる時には、どんな色を使おうか、どんな柄が合うだろうかと相談したり、行き詰まった時にはアドバイスし合ったりと、みんながいるから楽しく作業できます。縫っている時は集中して心が落ち着くので、あつという間に時間が経っていきます。物によっては完成まで数カ月かかることもあり、イメージ通りに仕上がるかと不安も付きまっていますが、その分出来上がった時の達成感はひとしおです。

手作りのバッグで出かけた時は「どうやって作ったの？」とパッチワーク好きの人から声を掛けられたことも。長く使える一点物が手元に残ることにやりがいを感じます。現在は、7月に行う作品展に向けて制作を進めています。これからも楽しんで活動を続けたいです。

スクスクのびのび

542



こうご 向後 翠人くん

みんなが大好き♡すいしとスマイル☺



にしはし 西林 のあ 希彩ちゃん

くるくるヘアと笑顔が癒やし!わが家のアイドルです☆



ほんだ はる 本田 悠流くん

いつもニコニコ!わが家のアイドル♪

このコーナーには市内在住で5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの1枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

- 応募方法
- 応募先
- 問い合わせ先

お子さんの写真・住所・氏名(ふりがな)・生年月日・性別、親の名前、電話番号、30字以内のコメントを郵送またはEメールで広報課へ。専用フォームからも応募できます
〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報課
koho@city.narita.chiba.jp (写真データはJPEGで容量1MB以上で送ってください)
広報課 ☎20-1503



専用フォーム